



2020年8月7日

各 位

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
 代表者名 代表取締役社長 長 井 啓
 (コード番号 : 6324)
 問合せ先 取 締 役 丸 山 顕
 取 締 役 上 條 和 俊
 TEL. 03-5471-7810

第1四半期受注高・売上高実績（単体）について

当社の2021年3月期第1四半期（2020年4月1日～2020年6月30日）の受注高・売上高実績（単体）を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第1四半期実績（単体）

（金額単位：百万円）

製品区分	受注高			売上高		
	金額	前年同期比 (%)	前四半期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	前四半期比 (%)
減速装置	4,086 (735)	197.2 (121.3)	93.2 (69.7)	4,397 (1,054)	87.7 (77.6)	100.6 (77.8)
メカトロニクス製品	897 (327)	117.0 (233.3)	84.4 (88.8)	962 (351)	96.1 (87.0)	105.8 (108.4)
合計	4,984 (1,063)	175.5 (142.3)	91.5 (74.6)	5,359 (1,406)	89.1 (79.8)	101.5 (83.7)

注) 括弧内の数字は輸出受注高及び輸出売上高であります。

2. 第1四半期の概況

- 当第1四半期の受注高は49億84百万円となり、前年同期比では増加しましたが、前四半期比では減少しました。
- 用途別の受注動向につきましては、前年同期比で、車載向けは減少しましたが、産業用ロボット向け、半導体製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッド、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、医療機器向けなどが増加しました。前四半期比では、産業用ロボット向け、モーターメーカー向けギアヘッド、医療機器向けなどは増加しましたが、車載向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、石油掘削装置向け、半導体製造装置向け、その他一般産業機械向けなどが減少しました。
- 前年同期比で受注高が増加したのは、産業用ロボット向けを中心に一部のお客様や代理店各社において、当社製品に係る在庫調整が進展したこと、加えて半導体市場の市況回復に伴う設備投資案件の増加により、半導体製造装置向けおよびモーターメーカー向けギアヘッドの受注が増加したことが主な要因です。前四半期比で受注高が減少したのは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、経済活動の収縮を背景に設備投資に慎重な動きがみられたこと、また移動制限や生産活動停止により自動車市場が低迷したことで車載向けが減少したことなどが主な要因です。
- 当第1四半期において、前四半期以前の受注分のうち、一部のお客様の生産計画や製品仕様の変更などを主因とした受注の取り消しが29百万円発生しておりますが、当第1四半期における受注活動の結果と実需を適切に表すため、上記表中の受注実績は当該取り消し額を差し引く前の金額を記載しております。

- (5) 輸出受注高は前年同期比では増加しましたが、前四半期比では減少しました。地域別では、前年同期比では北米、韓国、中国、ドイツをはじめすべての地域において増加しました。前四半期比では、中国、台湾をはじめほぼ全ての地域において減少しました。
- (6) 当第1四半期の売上高は、前年同期比では10.9%減少、前四半期比では1.5%増加の53億59百万円となりました。

本資料に記載の数値は、会計監査人による監査を受けておりませんので、正式な決算数値とは差異が生じる可能性があります。

以上